

株式会社折口組

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年8月1日～ 2024 年7月31日)



作成日: 2024年10月31日



目 次

項 目	ページ
目次	1
環境経営方針	2
組織の概要 認証・登録の対象組織・活動	3
事業の紹介・廃棄物処理フロー	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
主な環境負荷の実績・受託廃棄物の種類	7
環境経営計画	8
環境経営目標及びその実績	9～10
環境経営計画の取組結果とその評価	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
外部からの苦情などの受付状況及び対応結果	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



環境経営方針



<環境経営理念>

株式会社折口組は、廃棄物の収集運搬業及び中間処理・再生砕石等の運送及び販売を通じ、資源循環型社会の実現に向けた継続的な取り組みを行います。

産業廃棄物を『価値ある資源』とし適正な処理の下、リサイクル化の促進に取り組むとともに自らが排出する廃棄物の削減に努め、全従業員が自主的、積極的に環境負荷の低減に努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 電気・化石燃料の効率的な使用により二酸化炭素排出量の削減に努めます
2. 適正な利用により水使用量の削減に努めます
3. 自社の廃棄物の削減に努めます
4. 受託廃棄物の受入拡大に努力し、再資源化に努めます
5. グリーン購入の推進に努めます
6. 地域清掃活動等の社会貢献活動への積極的な参加に努めます
7. 環境関連法規、条例等を遵守します
8. 環境経営方針を全従業員に周知し、全員参加で継続的に取り組みます



制定日：2022年3月18日

改定日：2023年8月1日

株式会社 折口組

代表取締役 折口 靖幸

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社折口組 代表取締役 折口 晴幸
- (2) 所在地
本 社（登記上） 徳島県徳島市国府町和田字表1番地の7
- リサイクルプラント 徳島県徳島市国府町早淵字段ノ原952番地4



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先
責任者 山口 勝司 TEL:088-642-3351

- (4) 事業内容
産業廃棄物収集運搬業（積替えなし）
産業廃棄物処分業 中間処理（破碎、セメント混練固化）
再生砕石等の販売、運送

許可内容

【産業廃棄物収集運搬業許可】

許可番号 徳島県 第3600028511号

有効期限 令和2年5月21日から令和7年3月28日

【産業廃棄物処分業許可（中間処理）】

許可番号 徳島県 第3620028511号

有効期限 令和4年3月4日から令和8年11月18日

【一般貨物自動車運送事業許可】

許可番号 四運自貨第24号

- (5) 事業の規模
法人設立 平成6年11月24日
資本金 1,100 万円
売上高 2億6,664 万円 2023.8月～2024.7月

事業所	
従業員	6名
敷地総面積	7,175 m ²
事務所床面積	80 m ²

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	5,322 t		
中間処理量	43,157 t	うち再資源化量	43,156 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	1.0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備 考
油圧ショベル	3 台	低騒音型
ホイールローダー	2 台	低騒音型
10tダンプ	3 台	
4tダンプ	1 台	
2tダンプ	1 台	
清掃車（バキュームカー）	1 台	
合計	11 台	

主要設備

種類	名 称	台数	処 理 能 力
破碎機	ジョークラッシャー STK4	1基	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 328t/日（8時間, 41t/h） がれき類 328t/日（8時間, 41t/h）
混練機	コマツ リテラ BZ210-3 （粉塵低減装置付）	1基	汚泥 40～100m ³ /h（8時間）

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社折口組
対象事業所： 全組織・全活動・全社員
活動： 産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物処分業（中間処理）
再生砕石等の販売及び運送

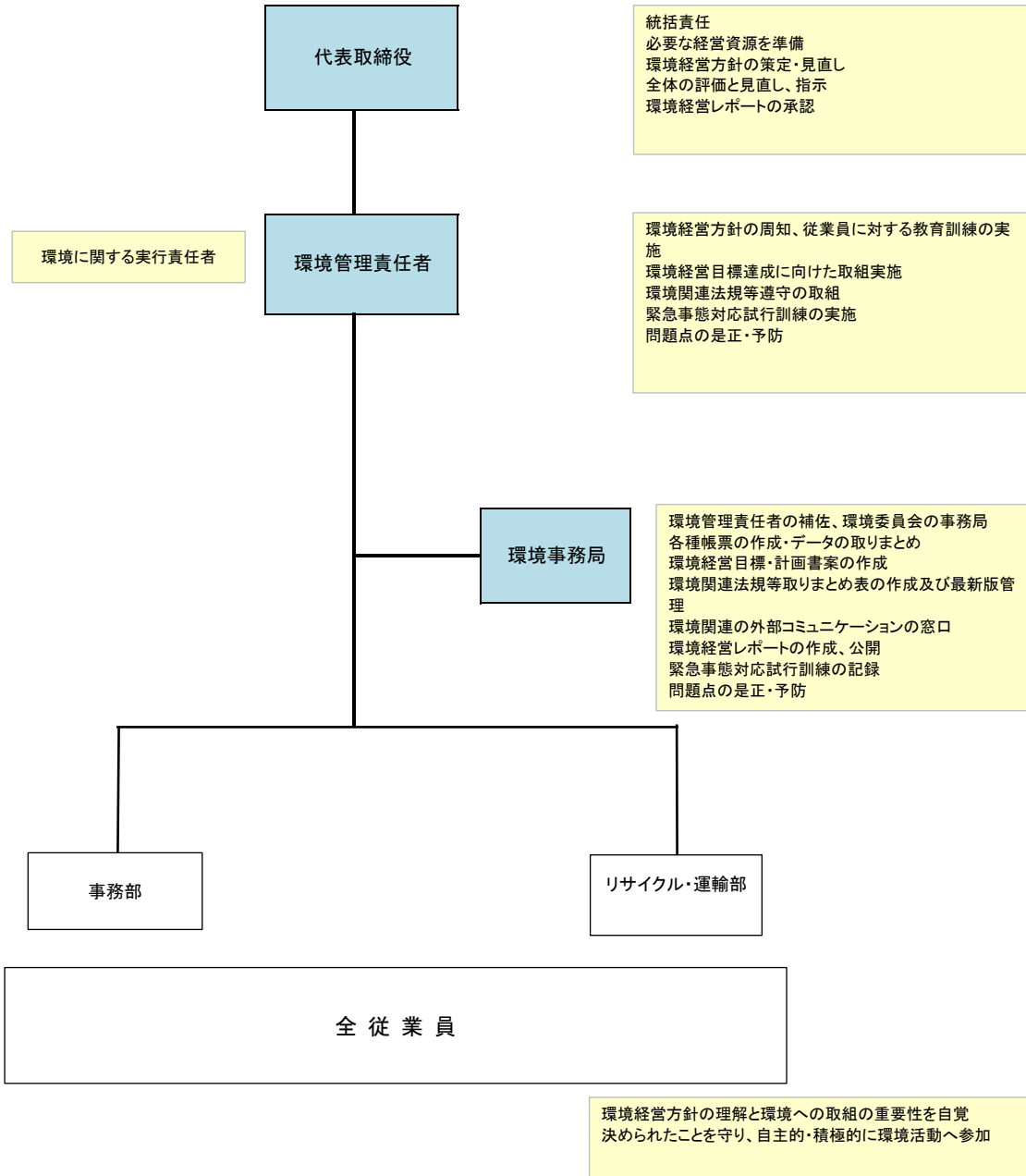
産業廃棄物(がれき類)の受入・処理工程表



産業廃棄物(汚泥)の受入・処理工程表



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替 保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
徳島県	3600028511	令和2年5月21日	令和7年3月28日	無		○	○	○			○	○	○				○		

以上7種類、特別管理産業廃棄物、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類									
					中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず	汚泥	
徳島県	3620028511	令和4年3月4日	令和8年11月18日	破砕						○	○			
				セメント混練固化									○	

破砕 以上2種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く。

セメント混練固化 以上1種類、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

□受託廃棄物の種類

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
コンクリートがら	トン	2,134	5,833	4,888	1,553
アスファルトがら	トン	1,741	582	931	708
アスコンがら	トン	1,424	1,111	472	756
その他がれき類	トン	785	532	647	327
建設汚泥	トン	4,947	675	1,762	1,978
収集運搬量合計	トン	11,031	8,733	8,700	5,322

(ii) 中間処理

廃棄物の種類	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
コンクリートがら	トン	32,044	22,364	24,389	15,720
アスファルトがら	トン	14,193	11,552	9,510	8,773
アスコンがら	トン	3,273	3,356	2,302	2,662
その他がれき類	トン	1,310	1,117	1,049	679
建設汚泥	トン	13,266	13,358	16,708	15,323
中間処理量合計	トン	64,086	51,747	53,958	43,157

□環境経営計画

環境経営目標を達成するために項目ごとに活動内容を定め取り組みました。

環境経営計画（2023年度）

項 目		環境活動の内容	日程	責任者
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	空調温度の適正化（冷房２８℃ 暖房２０℃）	通年	環境事務局
		不要照明の消灯	通年	環境事務局
		空調機の保守管理（フィルター清掃）	通年	環境事務局
		破碎機の適正運転	通年	環境管理責任者
	燃料使用量の削減	アイドリングストップ（自動車、機械）	通年	環境管理責任者
		効率的なルートで収集運搬	通年	環境管理責任者
		機械の適正運転	通年	環境管理責任者
		エコドライブの推進	通年	環境管理責任者
一般廃棄物の削減	分別の徹底（事務所、現場）	通年	環境事務局	
	ゴミの圧縮、減容	通年	環境事務局	
	両面コピーなどによる印刷物の削減	通年	環境事務局	
産業廃棄物の削減	受入れ時目視の強化	通年	環境管理責任者	
	顧客への分別の徹底の協力依頼	通年	環境管理責任者	
	保管場所の整理整頓	通年	環境管理責任者	
受託廃棄物の受入拡大	新規顧客への営業	通年	環境事務局	
	ホームページの随時更新	通年	環境事務局	
	始業前 リサイクルプラント内の清掃、整理整頓	通年	環境管理責任者	
	始業前 機械、車両の点検	通年	環境管理責任者	
運送車両のエコドライブの推進		効率的運送ルートの設定	通年	環境管理責任者
水使用量の削減		節水シールの貼り付けとポスター掲示	通年	環境事務局
社会貢献活動への参加		地域清掃活動実施	６．１２月	環境事務局
グリーン購入の推進		事務用品グリーン購入	通年	環境事務局

□環境経営目標及びその実績

中長期の環境経営目標

項 目	2020年度 2020年8月1日～ 2021年7月31日	2021年度 2021年8月1日～ 2022年7月31日	2022年度 2022年8月1日～ 2023年7月31日	2023年度 2023年8月1日～ 2024年7月31日	2024年度 2024年8月1日～ 2025年7月31日
	実績(基準値)	・基準比1%削減 ・受託廃棄物の受入拡大 は基準比1%増加	・基準比2%削減 ・受託廃棄物の受入拡大 は基準比2%増加	・基準比3%削減 ・受託廃棄物の受入拡大 は基準比3%増加	・基準比4%削減 ・2023年度終了後見直し したものは前年比 1%削減 ・受託廃棄物の受入拡大 は基準比4%増加
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	353,404	349,870	346,336	343,570	340,134
電力使用量 (kWh)	85,637	84,781	83,924	83,068	82,212
ガソリン使用量 (L)	294	291	288	618	612
軽油使用量 (L)	119,723	118,526	117,329	116,131	114,934
廃棄物	一般廃棄物(kg)	731	724	716	709
	産業廃棄物(kg)	1,360	1,346	1,333	1,319
受託廃棄物の受入拡大(t)	64,086	64,727	65,368	66,009	66,649
※1 運送車両のエコドライブの推進 (効率的運送ルートの設定)	-	-	-	実施	実施
※2 水使用量 節水啓発による削減	実施	実施	実施	実施	実施
社会貢献活動(清掃活動)	年1回	年1回	年2回	年2回	年2回
グリーン購入 グリーン商品(品目/年)	0品	3品	4品	4品	4品

備考 二酸化炭素排出係数 大ーガス㈱0.502kg-CO2/kWh(R4.1.7)

項 目	環境経営目標 (2023年8月1日～ 2024年7月31日)	取組み期間実績 (2023年8月1日～ 2024年7月31日)	達成率(%)	評 価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	343,570	319,475	108%	○
電力使用量 (kWh)	83,068	61,590	135%	○
ガソリン使用量 (L)	618	640	97%	×
軽油使用量 (L)	116,131	110,924	105%	○
廃棄物	一般廃棄物(kg)	709	153%	○
	産業廃棄物(kg)	1,319	127%	○
受託廃棄物の受入拡大(t)	66,009	43,157	65%	×
※1 運送車両のエコドライブの推進 運送ルートの設定、見直し	実施	実施	活動実施	○
※2 水使用量 節水掲示、励行	実施	実施	活動実施	○
地域清掃活動(清掃活動)(回数)	2	2	100%	○
グリーン購入 グリーン商品(品目)	4	4	100%	○

評価:達成・実施○ 未達成・未実施×

※1、運送車両のエコドライブの推進(効率的運送ルートの設定)の設定は数値化ができないことから、活動徹底を目標とする。

※2、水は地下水を利用しており、使用量把握ができないことから、活動徹底を目標とする。

※3、化学物室の使用はありません。

環境経営目標の実績評価

二酸化炭素排出量の削減	目標値を達成することができました。前期に引き続き、電気の使用量の削減が主な要因です。来期においても機械の点検、整備を強化しエコドライブや不要な荷物の積載をなくす取り組みを続け、削減に努めます。
電力使用量削減	前期、キュービクル式高圧受電設備を交換したことにより電力の変換効率が上がったことにより今期も削減できました。作業場、事務所共にこまめな節電を心がけ、来期も削減できるよう努めます。
燃料使用量削減	前期、車両台数の増加に伴い目標値を変更したところ、今期においては近づくことができました。引き続き、エコドライブを心がけて削減に取り組みます。 軽油は目標値を達成することができました。受託廃棄物の受入量減少の影響もありましたが、今後も機械の点検や適正運転を心がけ、受入増加時にも削減できるよう継続して取り組みます。
一般廃棄物の削減	事務所ではゴミの分別と削減を徹底しました。帳票類もなるべくデータで確認するなどをして削減に取り組みました。作業場でもゴミの分別に取り組んだ結果、目標値を大幅に達成することができました。来期においても徹底し、より削減できるよう努めます。
産業廃棄物の削減	顧客に改めて分別のお願いをしたことと持ち込み時の目視チェックの強化をした結果、削減することができました。引き続き削減に取り組みます。
受託廃棄物の受入拡大	全体的に公共工事を始め、工事の減少に伴い受託廃棄物の受入れも減少しました。新規顧客の獲得や既存顧客への営業活動に注力して翌期以降の拡大を目指していきます。
運送車両のエコドライブの推進	前日の打ち合わせで運送ルートの設定、見直しを行い効率的な運送ルートの設定をすることができました。
水使用量の削減	節水の心がけとこまめに栓を締めることで、抑制につながりました。
社会貢献活動への参加	会社周辺の清掃活動を実施しました。今後も継続して取り組みます。
グリーン購入の推進	事務用品、その他消耗品類を注文する際に環境ラベルの付いた商品を探し、購入することができました。今後も心がけて積極的に取り組みます。

□環境経営計画の取組結果とその評価

(1) 環境経営計画の実施状況とその評価

2023年度では下表に示した環境経営計画に基づき環境活動を行いました。

評価は3段階とし、「3」以外の評価の項目については次年度においてより一層の実施の徹底に努めます。

環境経営計画の実施状況の点検結果

※評価:「3」実施できた 「2」実施の徹底が不十分 「1」ほとんど実施できなかった

項 目		環境活動の内容	評価	今後（次年度）の取組 内容
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	空調温度の適正化（冷房２８℃ 暖房２０℃）	３	継続して実施
		不要照明の消灯	３	継続して実施
		空調機の保守管理（フィルター清掃）	３	継続して実施
		破碎機の適正運転	３	継続して実施
	燃料使用量の削減	アイドリングストップ（自動車、機械）	３	継続して実施
		効率的なルートで収集運搬	２	前日確認、当日再確認を徹底
		機械の適正運転	２	重機の実施徹底
		エコドライブの推進	２	プラント（事務所を含む）徹底
一般廃棄物の削減	分別の徹底（事務所、現場）	３	継続して実施	
	ゴミの圧縮、減容	３	継続して実施	
	両面コピーなどによる印刷物の削減	３	継続して実施	
産業廃棄物の削減	受入れ時目視の強化	３	継続して実施	
	顧客への分別の徹底の協力依頼	３	継続して実施	
	保管場所の整理整頓	３	継続して実施	
受託廃棄物の受入拡大	新規顧客への営業	２	継続して実施	
	ホームページの随時更新	３	継続して実施	
	始業前 リサイクルプラント内の清掃、整理整頓	３	継続して実施	
	始業前 機械、車両の点検	３	継続して実施	
運送車両のエコドライブの推進		効率的運送ルートの設定	３	継続して実施
水使用量の削減		節水シールの貼り付けとポスター掲示	３	継続して実施
社会貢献活動への参加		地域清掃活動実施	３	継続して実施
グリーン購入の推進		事務用品グリーン購入	３	継続して実施

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物
騒音規制法	特定施設の設置、騒音基準の遵守
大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届出
フロン排出抑制法	第一種特定製品（事務所エアコン、重機エアコン）の簡易点検実施（四半期に1回）、記録の保管
浄化槽法	保守点検、清掃、法定検査、記録の保管（3年間）
自動車リサイクル法	再資源化預託金等の預託、自治体に登録された引取業者への廃車の引渡し
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用
徳島県脱炭素社会の実現に向けた 気候変動対策推進条例	事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に努力 ゼロエミッションモデルなど3Rの行動推進
徳島県生活環境保全条例	一般粉塵じん発生施設、騒音発生施設の設置

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。また、近隣住民からの指摘もなく、訴訟等ありません。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/6/29	■実施場所： リサイクルプラント（事務所）
■参加者： 全社員（8名）	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 火災対応手順書に沿って行動できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

□外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

期間中、外部からの苦情や要請はありませんでした。
今後も環境上の苦情や要請を受けた場合は必ず受付て対応し、記録します。



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月30日

二酸化炭素排出量を始め、環境目標値をおおむね達成することができました。
エコアクション21に取り組み始めてから、社員それぞれの意識が高くなったことが一番の達成要因であると思います。
環境経営計画を掲げたことで具体的な取組みがわかり、また結果として数値で見ることができたことが社員の意識向上につながりました。

来期も継続して電気、化石燃料について効率的に使用することで更に二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。



環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり



□これまでの環境活動の紹介



地域清掃活動実施(12月、6月実施)

